

9/20/2016

日本比較文化学会関東・東北支部合同研究会
プログラム

東北支部長 佐藤和博
関東支部長 近藤俊明

日時：2016年10月1日（土）12:00 から 17:30 まで

会場：東京未来大学（東京都足立区千住曙町 34-12）

I. 研究発表（12:00～16:00）

a. 第1会場（会議室1）

(1) 向野康江（茨城大学教育学部教授）

「向野堅一編『誦雨寿言集』から考察する近代漢詩会の役割---筑豊地方における文人による人脈形成がもたらした経済活動情報---」

(2) 庄司愛望（茨城大学大学院教育学研究科修士課程）

「戦後の日本の盲図画工作教育方法論における青鳥会による『盲学校教育課程（小学部編）』と戦後の盲図画工作科教育に関する諸誌との比較」

(3) 黒田潤子（足立区立青井小学校教諭）

「ドイツと日本における描画指導の比較」

(4) 森崎巧一（森画廊）、大海悠太（東京工芸大学工学部電子機械学科）、 小楠竜也（早稲田大学国際情報通信研究センター）

「ICTと印象評価を用いた美術鑑賞支援ツールの開発」

(5) 山田秀平（茨城大学大学院教育学研究科修士課程）

「大正期の子どもの絵に関する研究---啓助が取り組んだ2つの向野家家庭教育実践の比較を通して」

(6) 皆川真理（茨城大学大学院教育学研究科修士課程）

「大正期向野堅一家の回覧雑誌『骨肉』にみる異国情緒」

(7) 金山愛奈（茨城大学大学院教育学研究科修士課程）

「芸術教育論の今日的意義---岡本太郎と岸田劉生の比較を中心に---

b. 第2会場(会議室2)

(1) ウオント盛香織（甲南女子大学准教授）

「パンパンと戦争花嫁：二言説を紡ぐ試論」

(2) 武富利亜（岐阜薬科大学教授）

- 「カズオ・イシグロの *Never Let Me Go* に隠された日本性とは」
- (3)張帥（明治大学大学院教養デザイン研究科博士後期課程）
「テレビ広告から見る日中文化の比較---オリンピック開催期間の広告を中心に---」
- (4)板谷洋一郎（中央大学兼任講師）
「ペネロピ・ライヴリー作『リッチフィールドへの道』における記憶、アイデンティティ、*“herstory”*」
- (5)川崎瑞穂（国立音楽大学助手）
「天狗のトリックスター性---インドネシアのペトルとの比較分析を中心に---」
- (6)高橋栄作（高崎経済大学准教授）
「Self-Access Language Learning の有効性について」
- (7)木鎌耕一郎（八戸学院大学教授）
「明治 36 年青森飢饉における外国人居留地の救護活動」

II. ワークショップ (16:00~17:30) (A 棟 402 教室)

「印象評価サポートツール体験ワークショップ」

ー日本比較文化学会生活文化研究部会協賛ー

森崎巧一（森画廊）

大海悠太（東京工芸大学工学部電子機械学科）

小楠竜也（早稲田大学国際情報通信研究センター）

印象評価サポートツールは、デザインなどに対する印象評価データの収集と分析を支援するための教材ツールです。本ツールを広く教育研究の中でご活用頂きたい、本ツールを体験できるワークショップを開催させて頂くことになりました。本ツールに少しでもご興味のある方は、分野は問いませんので、本ワークショップには是非ご参加下さい。

研究会終了後、懇親会を予定しております。